

経済団体トップに聞く

埼玉県特集

企業の目線から支援



佐伯 鋼兵 会長

埼玉県商工会議所連合会

埼玉県は、日本の経済や文化の好波動の中にあり、総じて活気がある。一方で中小企業の現場では人手不足や高齢化といった課題が山積み、回復しつつあるとされる景気を実感できない。連合会は、中小企業が元気を取り戻し、埼玉県のさらなる成長の牽引役となるべく、成長戦略に取り組んでいく。

ユニークな観光モデルを提言



加藤 喜久雄 代表幹事

埼玉経済同友会

本年度より、埼玉県固有の資産を生かした観光振興に重点を置いた活動に取り組んでいく。本年度、圏央道の茨城県内全區間の開通により、本県から成田空港までのアクセスが飛躍的に向上し、インバウンドの動向を掴むチャンスが膨らんだ。

「人を生かす経営」の総合実践



木下 信次 代表理事

埼玉中小企業家同友会

不透明な国際情勢に加え人材不足は深刻さを増しており、中小・小規模企業は景気回復の実感を得られない厳しい経営環境である。そうした中、我々は先の総会で「経営環境の変化に立ち向かい中小企業の時代を切り拓く」ことを生かす経営の総合実践、地域と共に歩む企業づくりを「人」をスローガンに掲げ、スタートした。

「地域応援宣言」地域から元気を



大久保 義海 会長

埼玉県商工会連合会

わが国経済は、緩やかな回復基調が続いていると言われているが、少子高齢化という構造的な問題による消費の低迷、経営者の高齢化による後継者問題等、中小・小規模企業は、依然として厳しい経営環境に悩まれている。本連合会は、2014年6月に制定された「小規模企業振興基本法」の基本原則である「事業の持続発展」を踏まえた取り組みとして、小規模事業者の販路開拓を支援する持続化補助金や県における中小企業支援の重点事業である経営革新承認制度等の諸施策を展開している。商工会が「地域応援宣言」のキャッチフレーズの下、中小・小規模企業が元気に、地域に活気がみなぎるよう、中小・小規模企業に対する積極的かつきめ細かな経営支援をしていく。

外部の知をつなぐ役割強化



上條 正仁 会長

埼玉県経営者協会

企業を取り巻く経営環境は、グローバル競争の激化、人工知能(AI)・ロボット・自動運転・ビッグデータなどの先端技術やネットの新しいプラットフォーム期待されるブロックチェーン活用などにより急速に変化しており、これらへの取り組みが企業の競争力・成長力を左右するといっても過言ではない。一方、雇用労働面では、労働力人口の急激な減少が見込まれる中、働き方改革と労働生産性向上の両立を図ることが喫緊の課題である。

人工知能の利活用促進



小川 修一 会長

埼玉県情報サービス産業協会

人工知能(AI)の活用が進むことにより、我が国の重要課題である少子高齢化による国民負担増の低減、労働人口減少による人材・人手不足の緩和ほか、多様な分野において課題の解決に寄与するものであると多数の有識者が考えている。こうした状況の下、総合経済団体として、企業、県、国、大学など多方面の「外部の知」をつなぐコーディネーターの役割をさらに強化し、企業の課題解決に積極的に取り組むとともに、教育、障害者支援など地域のさまざまな課題解決にも貢献していきたい。

既存・新規事業を支援



伊藤 光男 会長

埼玉県中小企業団体中央会

我が国経済は、人口減少・超高齢社会の到来等の構造的要因による需要減少に加え、諸外国の成長減速などグローバル経済の下でのリスク懸念の増大など、先行き不確実な状況が続いている。この状況下で本会は中小企業組合等の専門支援機関として、その役割と使命を遺憾なく発揮するため、活動の機軸をなす巡回訪問、窓口相談等の充実強化に努め、既存事業の活性化・事業の再構築・新規事業の創出などを積極的に支援する。今年度は、中小・小規模事業者の「稼ぐ力」を支援するため、「経営革新計画承認取得支援事業」「組合成長戦略支援事業」「組合広報活動・メディア戦略支援事業」を積極的に実施し、組合活動の活性化を推進していく。

寄り添う姿勢を鮮明に



塩川 修 会長

埼玉県信用保証協会

中小企業のライフステージに応じた支援が求められている。当協会は、中小企業を「創業期」「成長期」「成熟期」「再生期」の四つのライフステージに分け、それに合わせた多様な支援を展開している。平成29年度は、今まで以上に中小企業に寄り添う姿勢を鮮明にするとして、「中小企業総合支援機関」として存在感を持った組織を目指していく。

技術のニーズとシーズつなぐ



山縣 秀司 理事長

さいたま市産業創造財団

当財団は、さいたま市産業政策の実行部隊として、医療機材分野への参入支援などさまざまな事業を行っている。今後これをより大きなものにしていきたい。BIZ SAIJIMA(展示商談会)は3回目を迎え、商談・成約につながる件数も増加している。今年度は、金融機関との連携をより強化し、事業を進展させていきたい。技術シーズのプラットフォームをもう一つ進めて、中小企業の持つ技術シーズにつながる確率を高める。IoT(モノ)のインターネットの支援は昨年度全国5か所の一つとして認められた「スマートものづくり応援隊事業」を継続発展させ、参加企業の具体的な改善活動の中にIoTを位置づけること、中小企業の目線に沿った取り組みとして推進していきたい。

川金ホールディングスグループは、素材材・免振製・産業機械の高度な技術とグループの総合力をもって、高品位の製品とサービスを提供し、安全で安心できる快適な生活・社会基盤作り貢献していきます。

www.kawakinhd.co.jp

振動耐久試験機 免震ゴム用 大型2軸試験機

株式会社 松田製作所
http://www.mtd.co.jp/ 海外拠点 タイ/中国

本社・工場 〒346-0035 埼玉県久喜市清久町1-1 TEL.0480-22-2111
東京支店 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-10-10 新八重洲ビル3F TEL.03-3548-8100
大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2-2-16 TEL.06-6155-5444
名古屋支店 〒485-0045 愛知県小牧市川西1-22 TEL.0568-72-5931

資源リサイクル化に貢献する

お客様第一 品質第一 安全第一

低トルク!低騒音!一体型変則ネジレ刃!で強力剪断・破砕!

UGSSシリーズ

【用途】

- 漁網、タタミ、ふとんなどの破砕に!
- 廃棄プラスチック・可燃ゴミ固形燃料化前工程の剪断・破砕に!
- 剪定枝・落ち葉・雑草・魚類・野菜屑等、バイオコンポスト前工程の剪断・破砕に!
- アルミ、鋼鉄、プラスチック、空き缶、電線、携帯電話、自動車タイヤ内装材、パンパー、FRP、ガラス、木材、電話帳、生ゴミなど破砕に!

電子機器基板

大型・産業廃棄物の剪断・破砕に!

彩の国工場 指定

株式会社 氏家製作所 〒330-0856 さいたま市大宮区三橋1丁目592番地 TEL.048-663-1081代表 FAX.048-652-1854 URL http://www.ujiei-ss.co.jp

豊富なオリジナル品と受注制作による特殊刃具であらゆるニーズにお答えします

信頼を裏切らない 創業以来一貫して特殊刃具の受注生産を続け、高精度 高速ドライ 難削材加工といった様々なニーズにきめ細かく対応。

優れた技術を支える 営業と一体となった優れた創造的なエンジニアが、多様なユーザーニーズに対応。人・ソフト・ハードの合理的な一貫システム化により、お客様に満足いただけるワフルな高付加価値商品を生産。

業務内容 超硬・ハイス・PCD・CBN・サーメット・ステンレス 切削工具及び治具の製造販売

株式会社 東洋ドリル 〒340-0001 埼玉県草加市柿木町1796 TEL.048-930-6311(代) FAX.048-930-6312 E-mail web@toyodrill.co.jp